



1st community わたらせ

第1地区コミュニティ
わたらせ広報部会

第2号

発行:令和3年7月

令和3年度 第1地区コミュニティ 「わたらせ」会長あいさつ

井上 淳

新設第1地区コミュニティわたらせ令和3年度総会は新型コロナ感染拡大市(茨城県)指定を受け、書面表決をもって行うことになりました。

会員への送付の議案書(4/18役員会審議)は5/31回収され全ての議案に賛同戴きました。これをもって3年度事業への出発となりました。会員諸兄の深いご理解ご協力に感謝申し上げます。

設立半年を振り返ればコロナ禍での部会活動は自粛のなか三密・換気マスクなど防衛に徹底し窮屈な活動となりました。設立記念事業2/7実施で計画された「泉石まつり」は残念ながら中止となりましたが全体事業としての企画が各部会とのコミュニケーション構築に大きな原動力となりました。

福祉部会企画の「イキイキ健康出前教室」は多くの参加者を迎えて実施されました。地域安全の抑止力として「見守り隊」が発足しました。コミュニティの情報発信紙「広報わたらせ」の発刊など各事業は確実に歩みだしました。

3年度は各部会の一層の融和をはかり地域ニーズをくみ取り歴史環境にある第1地区36町内コミュニティをさらに発展させる事業が推進できることを期待いたします。



定期総会について

4月25日の定期総会を5月23日に延期し、令和3年度定期総会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、書面による議案の議決を行い、結果、全議案が全員賛成となり、原案通り承認となりましたことを、ご報告いたします。



令和2年度 事業報告

事業内容	開催時期	場所	備考
設立総会	令和2年10月17日	はなももプラザ	会則・組織・役員・担当者・事業計画・会費の額・予算を議決
歴史文化事業(泉石まつり)	令和3年2月7日(コロナで中止)	古河歴史博物館	公共施設が新型コロナにより閉鎖
防災安全事業(安全パトロール)	令和3年3月から	第1地区内	パトロールプレート・ジャンパー作成
健康福祉事業(健康出前講座)	令和3年3月25日	はなももプラザ	午前・午後の2回開催
広報紙発行事業	令和2年11月	地区内全戸配布	3000部発行
役員会	令和2年11月7日	コミセン出城	今後の運営について 会設立記念行事について
役員会	12月5日	コミセン出城	泉石まつり経過について
博物館清掃奉仕	12月19日	古河歴史博物館	
泉石まつり実行委員会	12月19日	古河歴史博物館	泉石まつりについて
役員会	令和3年3月6日	台町会館	泉石まつり反省会
三役会	12月5日	関善商店	泉石まつりについて
三役会	12月10日	関善商店	役員会・実行委員会開催について
三役会	12月25日	古河歴史博物館	泉石まつり日程表について
三役会	令和3年1月8日	関善商店	泉石まつり講演会・チラシについて
三役会	1月13日	関善商店	泉石まつりアマビエ登録等について
三役会	1月14日	関善商店	泉石まつり時刻スケジュールについて
三役会	2月12日	関善商店	ロゴ・出前講座・パトロールについて
三役会	2月15日	関善商店	出前講座について
三役会	2月16日	関善商店	防犯ジャンパーについて
三役会	2月18日	関善商店	ロゴについて
各部会	令和2年10月17日	はなももプラザ	各部会顔合わせ
広報部会	11月11日	台町会館	7名
健康福祉部会	11月14日	台町会館	10名
広報部会	11月21日	コミセン出城	11名
健康福祉部会	11月28日	台町会館	10名
歴史文化部会	12月10日	コミセン出城	4名
防災安全部会	12月12日	コミセン出城	8名
健康福祉部会	12月20日	台町会館	9名
防災安全部会	令和3年1月16日	コミセン出城	11名
防災安全部会	1月19日	グリーンパーク第1会議室	3名
防災安全部会	2月21日	グリーンパーク第1会議室	4名
健康福祉部会	3月13日	コミセン出城	13名
防災安全部会	3月13日	台町会館	8名
コミュニティ連絡協議会会長会議	令和3年3月18日	総和庁舎会議室	井上会長出席

令和2年度 会計決算報告

令和2年10月17日から
令和3年3月31日

収入の部

(単位円)

科目	決算額	備考
繰入金	1,743,925	令和元年度設立助成金(設立準備委員会残金) 268,434 地区運営協議会防災訓練用定期預金繰入金 763,392 赤門を保存する会解散に伴う残余財産 712,099
設立助成金	300,000	令和2年度設立助成金(古河市)
事業助成金	224,000	
会費	37,000	
負担金	23,000	防犯パトロール兼会ユニホーム自治会負担金
雑収入	1	預金利子
繰越金	0	
合計	2,327,926	



支出の部

(単位円)

科目	決算額	備考
会議費	12,886	設立総会・役員会・部会
事業費	408,320	出前講座・防犯パトロールユニホーム・広報紙等
事務費	11,644	印刷・通信・封筒等
負担金	0	
繰出金	1,475,491	定期預金積立 (防災関係763,392円・赤門関係712,099円)
予備費	0	
合計	1,908,341	

収入総額 2,327,926 円
 支出総額 1,908,341 円
 差引残高 419,585 円 (次年度繰越金)
 定期預金 763,392 円 (防災訓練等準備基金・常陽銀行)
 定期預金 712,099 円 (赤門等管理準備基金・常陽銀行)

令和3年度 事業計画

事業内容	備 考
定期総会	令和3年4月25日 コミセン出城
歴史文化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第1小学校校舎の写真や思い出を記録収集及び展示会、冊子作成 ・ふるさとかるた「許我」の活用事業(かるた大会) ・一小赤門の保存 ・あんどん祭りへの協力
防災安全事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練準備活動 ・防災活動学習会 ・安全見守り活動 ・部会の防災訓練 
健康福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング等の健康福祉の増進運動 ・出前講座の開催 ・福祉関係団体等との話し合いなど 
広報紙発行事業	<ul style="list-style-type: none"> ・年9回発行(全戸配布 1回3500部、部会広報8回1000部(回覧)) ・コミュニティ活動周知 ・イベント情報発信など
役員会	随 時
三役会	随 時
部 会	随 時

令和3年度 会計予算

収入の部

(単位円)

科目	予算額	備 考
繰越金	419,585	前年度繰越金
繰入金	0	
設立助成金	0	
運営助成金	120,000	古河市助成金
事業助成金	329,000	歴史文化事業(補助率2/3) 96,000円
		防災安全事業(補助率2/3) 73,000円
		健康福祉事業(補助率2/3) 40,000円
		広報紙発行事業3000部・500部×8 120,000円
会 費	37,000	36自治会・出城の会
負担金	57,000	防犯パトロールジャンパー負担金収入
雑収入	1,000	参加費収入・寄付金・広告費・その他
合 計	963,585	

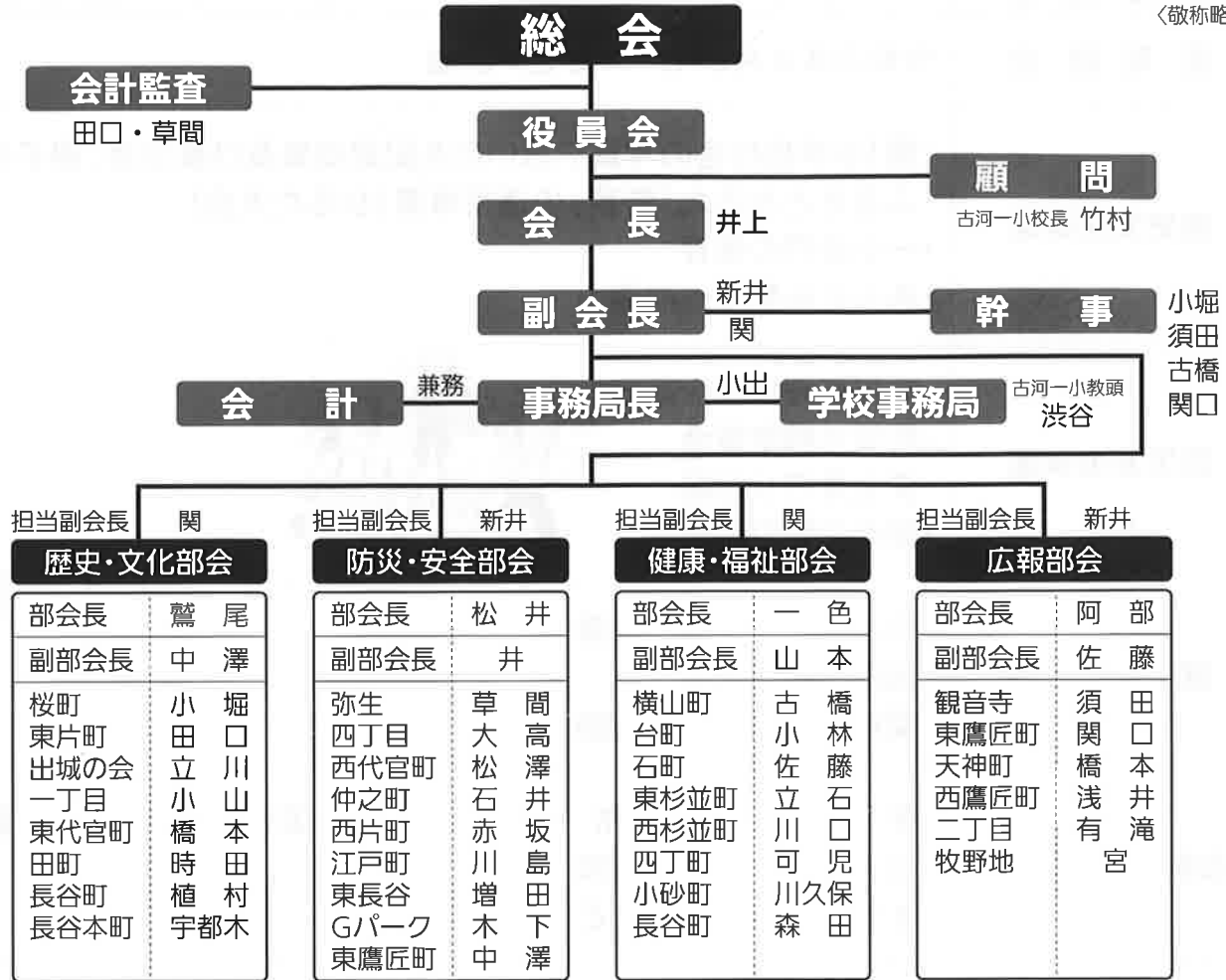
支出の部

(単位円)

科目	予算額	備 考
会議費	30,000	総会・役員会・部会
事業費	470,000	歴史文化事業費 150,000円
		防災安全事業 110,000円
		健康福祉事業 60,000円
		広報紙発行事業 年9回 150,000円
事務費	20,000	印刷・郵送料等
負担金	50,000	古河コミュニティ推進協議会会費・研修負担金
予備費	393,585	
合 計	963,585	

令和3年度 組織並びに担当者

〈敬称略〉



会員及び賛助会員(地区内の全住民・団体・事業者等)

自治会・老人会・子ども会・PTA・消防団・自主防災会・防犯連絡員・青少年相談員・民生委員・スポーツ推進員・交通安全推進員・他各種団体など

役員

任期 令和2年10月17日から
令和4年3月31日

役職名	氏名	自治会等	役職名	氏名	自治会等
顧問	竹村 靖	一小校長	歴史・文化部会長	鷺尾 政市	三神町
会長	井上 淳	白壁町	防災安全部会長	松井 晃	南長谷
副会長	新井 忠夫	台町	健康・福祉部会長	一色 常夫	天神町
副会長	関 照美	大工町	広報部会長	阿部 捷一	江戸町
幹事	小堀 英男	桜町	会計監査	田口 精二	東片町
幹事	須田 昭二	観音寺	会計監査	草間 悟	弥生
幹事	古橋 道正	横山町	事務局長兼会計	小出 富也	厩町
幹事	関口 和勇	東鷹匠町	学校事務局	渋谷 雅美	一小教頭

編集後記

コロナ・コロナ・コロナ…。もうすでに、一年半が過ぎようとしているのに終わりが見えない。

皆さん、我慢の生活、大変ですよねー。

しっかり対策を行い、命を守り、楽しい日々が来ることを信じて頑張りましょう！

発行責任者 副会長 新井 忠夫



1st community
わたらせ

【第1地区コミュニティわたらせ ロゴコンセプト】

◎第1地区を代表するアイテム、鷹見泉石記念館を表す雪華、古河城、わたらせ(ハート型)をCommunity(コミュニティ)の「コ」＝「C」で囲んでいます。

◎7つの雪華は旧古河第7地区の7つを見立てており、第1地区コミュニティだけでなく古河市内の地域連携を意味しています。